

成田市まちづくり茶論



コーヒーを味わいながら和やかな雰囲気

参加者 成田太鼓祭も年々盛大になり観光客も増加していることから、安全対策にも力を入れていかなければならない。
市長 成田太鼓祭での安全対策については、市としても協力していきたい。

経費確保に
ネーミングライツの
導入も



市民の視点に立ち、市民の声を市政に反映し、市民に開かれた市政を実現するための市長を交えた意見交換の場「成田市まちづくり茶論」。その第1回目の「茶論」が7月26日、成田観光館を会場に「成田まちづくり塾」の皆さんを招いて開催されました。今回のテーマは「観光立市に向けた観光対策」。

成田まちづくり塾が中心となりボランティアのメンバーで運営している「成田太鼓祭」や、成田市の観光のメインである成田山新勝寺の参道の活性化などについて活発な意見が交わされました。

「成田まちづくり塾」

塾長 村島秀行

わたしたち成田まちづくり塾は、仲町まちづくり協議会の発案で始まった感動成田劇場(成田太鼓祭の前身)を実施していった過程で集まった数人のメンバーにより発足し、現在では40人を超える組織に成長しました。

太鼓祭実行委員会、成田市観光協会の皆様のご協力を賜りながら、千願華太鼓、千年夜舞台、太鼓パレードの企画運営など、試行錯誤を繰り返し今日に至り、「成田太鼓祭は日本有数の太鼓祭だ」と、全国のお客様に高く評価を頂くようになったことは、塾生一同誇りに思うと同時に、これからの活動に対して身の引き締まる思いです。

平成20年は「成田山開基1070年祭記念大開帳」があり、成田太鼓祭も第20幕と区切りの年です。

今後は観光立市成田にお越しになるお客様に、今まで以上に楽しんでいただけるような「まちづくり」の一助となるよう努めていきたいと考えます。



小泉市長を囲んで

参加者 安全対策も含め、盛大になるにつれ経費も掛かる。予算を確保するため、ネーミングライツ(命名権)を導入し、各演奏ステージに市内の企業の名前を付けてはどうか。

市長 それは面白い。太鼓祭だけでなく、例えば野球場や体育館、あるいは究極案だが参道そのものにネーミングライツを導入するのも面白い。

売りに結び付ける戦略が必要



参加者 参道のセットバック事業により、観光客が安心して歩けるようになった。セットバック事業の進ちよく状況は。

市長 セットバックは上町で61%、



花崎町で8%程度の進ちよくです。それに合わせて、参道入り口にモニUMENTも設置するところが決まっています。

参加者 セットバックに合わせ、街灯も整備できないだろうか。

参加者 街灯の整備も必要だが、それ以前に、各店舗の営業時間にも問題があるのではないかと。

市長 確かに、店が閉まるのが早いですね。

参加者 営業時間を延ばしても、目玉になるようなものがなければ客は集まらない。

参加者 PRの仕方も勉強したほうがいいよね。

参加者 太鼓祭の千年夜舞台の後に仲町の人たちで千灯路というのをやったら、以前はまっすぐ帰っていたお客さんが、ここ一・二年は、一度仲町の坂へ出て千灯路を見てから帰るようになった。このように何か戦略を練っていかば、売り上げなどに結び付く要素はあるのでは。

自分自身が成田のとりこになること



参加者 これからは都市間競争も



あります。成田は、東京という消費地がすごく近いので、ライバルが多いと思います。

市長 これからの都市間競争では、いかに外からお客さんに来ていただき、お金を落とすとしても、それが勝ち抜いていく要素かなと思います。それプラス大事なものは、来ていただいた以上「おもてなし」ですよ。おもてなしも観光資源、リピーターを生むものだと思うんです。

参加者 みんな成田が大好きなので、成田を自分たちが誇りを持つ町にしたいのが一番。成田に住むわれわれ自身が、成田のとりこになることが、誇りを持つてまちづくりに通じるのではないのでしょうか。

市長 今回は、成田を愛する気持

ちが満ち溢れた多くの貴重な意見、中でも参道の安全対策、交通対策、活性化などの問題や課題、ネーミングライツといった新しい発想などを聞かせていただきました。市としても、協力させていただきたく気持ちでおります。今後も連携をしながらやっていきたいと思っております。ぜひよろしくお願いいたします。

※成田市まちづくり茶論の議事録は市ホームページや行政資料室でも公開しています。くわしくは市民支援課(☎20-1507)へ。



まちづくり茶論 参加者募集

対象 市民からなる3人以上のグループ

定員 15人(申し込み多数は抽選)

開催日とテーマ

○10月24日(水)・子育て支援

○11月22日(木)・放課後子どもプラン

○1月24日(木)・ごみの減量化など

○2月21日(木)・独り暮らし高齢者の見守りネットワークと介護予防事業

時間 午後または夜間の1時間30分

会場 市役所の会議室など(希望の会場がある場合はご相談ください)

申し込み方法 開催予定日の前月末までに直接市民支援課(市役所2階)へ。

※市内の名産品や特産品などの紹介を兼ねた茶菓を用意します。一人につき実費(300円程度の負担をお願いします。くわしくは市民支援課(☎20-1507)へ。

8